

(100点満点)

問題番号	設問	解答番号	正解	配点	自己採点
第1問	問1	1	③	2	
	問2	2	③	2	
	問3	3	④	2	
	問4	4	①	2	
第1問 自己採点小計				(8)	
第2問	問1	5	③	2	
	問2	6	②	2	
	問3	7	④	2	
	問4	8	③	2	
	問5	9	②	2	
第2問 自己採点小計				(10)	
第3問	問1	10	②	3*	
		11	①		
		12	③		
		13	④		
	問2	14	①	3	
問3	15	①	3		
第3問 自己採点小計				(9)	
第4問	問1	16	①	3	
	問2	17	④	3	
	問3	18	②	3	
	問4	19	④	3	
第4問 自己採点小計				(12)	
第5問	問1	20	④	3	
	問2	21	③	3	
	問3	22	①	2	
		23	③	2	
	問4	24	④	3	
問5	25	②	3		
第5問 自己採点小計				(16)	

問題番号	設問	解答番号	正解	配点	自己採点
第6問	問1	26	④	3	
	問2	27	④	3	
	問3	28 - 29	①-④	3*	
		30	②	3	
	問4	31	②	3	
問5	32	③	3		
第6問 自己採点小計				(18)	
第7問	問1	33	④	3	
	問2	34	④	3	
	問3	35	⑤	3*	
		36	③		
		37	①		
問4	38	②			
問5	39	①	3		
問5	40 - 41	①-③	3*		
第7問 自己採点小計				(15)	
第8問	問1	42	③	2	
	問2	43 - 44	②-④	3*	
	問3	45	①	2	
	問4	46	①	2	
	問5	47	④	3	
第8問 自己採点小計				(12)	
自己採点合計				(100)	

(注) ※は、全部正解の場合のみ点を与える。  
 -(ハイフン)でつながれた正解は、順序を問わない。

第1問

【全訳】

あなたは鉄道とカメラに興味がある高校生です。自分が住んでいる市の交通局が開催するコンテストのためのウェブサイトを見つけます。コンテストに参加しようか思案中です。



列車好き、バス好きのみなさん、注目！

今夏7月1日に列車の路線であるグリーンラインが、カワイ市の東部で営業運転を開始します。記念行事の1つとして、交通局では列車好き、バス好きのみなさんのためのアートコンテストを開催しています。コンテストは写真部門、1分動画部門、絵画部門の3つの部門で構成されています。カワイ市民であればどなたでもこのコンテストに参加できます。

◆写真部門

写真にはカワイ市の列車かバスの少なくとも一部がはっきりと写っているものとします。過去12カ月以内に撮られた写真のみが対象です。

◆1分動画部門

動画にはカワイ市の列車かバスの少なくとも一部が含まれているものとします。過去12カ月以内に撮られた動画のみが対象です。

◆絵画部門

作品は列車かバスに関するものとしますが、抽象的なものであれ具象的なものであれ、どのようなものでもかまいません。絵画の作成時期に関する規定はありません。

◆コンテストのスケジュール

- ▶コンテストは5月31日の午後5時まで参加を受け付けています。参加するためには、[こちら](#)をクリックし、各々の部門の指示に従ってください。
- ▶6月7日に、各部門のファイナリスト5名ずつが応募者の中から選ばれ、その作品は同日正午に、中央駅待合室に展示されます。6月21日の午後11時59分まで、そこを訪れた方がお気に入りの写真、動画、絵画に投票することができます。その後、得票数に基づいて3名の最優秀賞受賞者(各部門1名)が決定されます。
- ▶6月30日、最優秀賞受賞者の栄誉を称え、中央駅にできる新しいグリーンラインのプラットフォームで式典が執り行われます。

◆賞

- ▶すべてのファイナリストに1日乗車券を7枚差し上げます。1日乗車券はすべてのバスや列車に1日有効です。
- ▶各部門の最優秀賞受賞者にはさらに、6カ月間有効の乗車パスと新しいグリーンラインのロゴの入った記念のジャケットが授与されます。

## 【語句・構文解説】

- ・ a contest hosted by the transit department of the city 「市の交通局が開催するコンテスト」 hosted 以下は contest を修飾する過去分詞句。  
host O 「O を開催する」  
transit 「交通機関」  
department 「(自治体などの)局/課」
- ・ think about *doing* 「～することを考える/～してみようかと思う」
- ・ enter O 「O に参加する」

## 〈告知文〉

- ・ A and/or B 「A と B の両方もしくは片方」
- ・ ~ lover 「～好きの人/～を愛する人」
- ・ serve O 「O に奉仕する/サービスする」
- ・ celebration 「祝賀」
- ・ consist of A 「A で成り立っている」

## 〈絵画部門〉

- ・ concern O 「O に関連している」
- ・ abstract or concrete 「抽象的なものであれ具象的なものであれ」 A or B 「A であろうと B であろう」という副詞句を用いた表現。

【例】 Awake or asleep, he couldn't forget her.

寝ても覚めても、彼は彼女のことが忘れられなかった。

abstract 「抽象的な」

concrete 「具象的な/具体的な」

- ・ regulation on A 「A に関する規則」
  - ・ complete O 「O を完成させる」
- 〈コンテストのスケジュール〉
- ・ direction 「指示」
  - ・ entry 「出品物/参加者」
  - ・ put O on display 「O を展示する」
  - ・ vote for A 「A に投票する」
  - ・ based on A 「A に基づいて」
  - ・ the number of votes received 「得票数/獲得した票の数」 received は votes を修飾する過去分詞。
  - ・ honor O 「O に栄誉を授ける/敬意を表す」

## 〈賞〉

- ・ one-day pass 「1日乗車券」
- ・ valid 「有効な/効力がある」
- ・ transit pass 「乗車パス」
- ・ souvenir 「記念品」

## 【設問解説】

問1  ① ③

あなたの作品が参加資格を満たすためには、あなたは  必要がある。

- ① 列車かバスのはっきりとわかる画像を含める

② 昨年の5月以降に制作されたものであることを確実にする

③ コンテストが行われている市に住んでいる

④ 提出作品を自分で中央駅まで持って行く

告知の最初の段落の最終文「カワイ市民であればどなたでもこのコンテストに参加できます」より、③が正解。①は、写真部門の第1文「写真にはカワイ市の列車かバスの少なくとも一部ははっきりと写っているものとします」には当てはまるが、絵画部門の第1文「作品は列車かバスに関するものとしませんが、抽象的なものであれ具象的なものであれ、どのようなものでかまいません」に当てはまらないので、不可。②は、写真部門と1分動画部門の最終文「過去12カ月以内に撮られた写真[動画]のみが対象です」には当てはまるが、絵画部門の最終文「絵画の作成時期に関する規定はありません」には当てはまらないので、不可。④については述べられていないので、不可。

問2  ② ③

あなたは  の間にお気に入りの作品に投票することができる。

- ① 5月31日と6月7日
- ② 5月31日と6月21日
- ③ 6月7日と6月21日
- ④ 6月7日と6月30日

告知のコンテストのスケジュールの2つめの項目の第1・2文「6月7日に、各部門のファイナリスト5名ずつが応募者の中から選ばれ、その作品は同日正午に、中央駅待合室に展示されます。6月21日の午後11時59分まで、そこを訪れた方がお気に入りの写真、動画、絵画に投票することができます」より、③が正解。

問3  ③ ④

あなたの提出した作品が15名のファイナリストの作品に含まれている場合、あなたは  ことになる。

- ① 6カ月間有効のバスと列車の乗車券が贈られる
- ② 中央駅で行われる式典に招待される
- ③ 列車の路線のロゴが入った服を受け取る
- ④ バスや列車に7日間無料で乗ることができる

告知の賞の1つめの項目「すべてのファイナリストに1日乗車券を7枚差し上げます。1日乗車券はすべてのバスや列車に1日有効です」より、④が正解。①と③は、賞の2つめの項目「各部門の最優秀賞受賞者にはさらに、6カ月間有効の乗車パスと新しいグリーンラインのロゴの入った記念のジャケットが授与されます」に関連するが、これは各部門の

最優秀賞受賞者に関する事なので、不可。②は、コンテストのスケジュールの3つめの項目「6月30日、最優秀賞受賞者の栄誉を称え、中央駅にできる新しいグリーンラインのプラットフォームで式典が執り行われます」より、これも最優秀賞受賞者に関する事なので、不可。

問4  ④ ①

コンテストは  ために開催される。

- ① 新しい列車の路線の開通を祝う
- ② プラットフォームで式典を行う
- ③ あなたがお気に入りの作品に投票できるようにする
- ④ 若くて有望なアーティストを支援する

告知の第1文「今夏7月1日に列車の路線であるグリーンラインが、カワイ市の東部で営業運転を開始します」と、第2文「記念行事の1つとして、交通局では列車好き、バス好きのみなさんのためのアートコンテストを開催します」より、①が正解。②、③、④については、コンテストを開催する目的とは無関係なので、不可。

## 第2問

## 【全訳】

あなたは学校の英語クラブの一員です。クラブでは、英語学習をもっと楽しめるものにする目的の生徒企画に取り組んでいます。アイデアを得るため、あなたはある学校のチャレンジについてのレポートを読んでいます。そのレポートは、日本の別の学校で学ぶイギリスの生徒によって書かれたものです。

## 多読チャレンジ

日本の10代の人たちの中には、日本語で書かれた本なら楽しく読む人が多くいます。でも、英語での読書となると、授業や宿題でだけすることであって、読み物も面白味のないものであることが多いのです。自分が読む英語の本を生徒自身が選べるとしたらどうでしょう。私たちは、生徒が英語でもっとたくさん読むのを促すためのプログラムを始めました。年度が始まる前、図書館に英語の本を400冊以上追加してもらいました。年度の終了時点で生徒が借りた記録を分析したところ、全校生徒300名のうち112名が参加したことがわかりました。3分の2近くは不参加でした。なぜその人たちは参加しなかったのでしょうか。フィードバックの一部を見てみましょう(下記のとおりです)：

## 生徒からのフィードバック

YO：私は、有名な人気のある物語を翻訳で読むのではなく原語の英語で楽しく読みました。シャーロック・ホームズの物語を、一番易しいものから始めて、苦労しながら最も難しいものまですべて読みました。

AN：英語の授業で、読んだ本についてのテストがあると思ったので、最初は興味があったんだ。テストがないとわかって、参加しないことにしたよ。

NH：このチャレンジのことは知っていたけれど、宿題や部活でとても忙しくてそれに時間を割く余裕はなかった。

MB：嬉しいことに、私が自分に合う難しさの本を選ぶのを学校図書館の司書の方が手伝ってくれました。その助けがなかったら、難しすぎて読めない本に多くの時間を使っていたかもしれません。

EW：選ばれた本の中にフィクションが多すぎて、ノンフィクションが十分にはないように感じました。科学をテーマにした本がほとんどなかったのが、がっかりでした。

## 【語句・構文解説】

- ・ work on A 「Aに取り組む」
  - ・ aim to do 「～することを目的とする」
  - ・ make O C 「OをCにする」
  - ・ extensive reading 「多読」
  - ・ when it comes to doing 「～するということになる」と
  - ・ something they do only in class or for homework 「授業や宿題でだけすること」 they 以下は something を修飾する節。
  - ・ material 「読み物/教材」
  - ・ What if SV ...? 「もし…ならどうなるだろうか」
- 【例】 What if we run into a bear in the mountains?  
山中で熊に出会ったらどうなるだろう。
- ・ the English books they read 「自分が読む英語の本」 they read は the English books を修飾する節。
  - ・ programme 「プログラム」 programme は program のイギリス綴り。
  - ・ encourage O to do 「Oに～するよう促す」
  - ・ add A to B 「BにAを加える」
  - ・ analyse O 「Oを分析する」 analyse は analyze のイギリス綴り。
  - ・ borrowing record 「借り出し記録/貸し出し記録」
  - ・ participate 「参加する」 (=take part)
- 〈生徒からのフィードバック〉
- ・ Sherlock Holmes 「シャーロック・ホームズ」 イギリスの作家コナン・ドイル(1859-1930)の推理小説の主人公である名探偵。
  - ・ start with A 「Aから始める」
  - ・ work one's way up to A 「苦労しながらAまで進む」
  - ・ at first 「最初のうちは」
  - ・ realise (that) SV ... 「…ということがわかる」 realise は realize のイギリス綴り。
  - ・ decide not to do 「～しないことに決める」
  - ・ help O do 「Oが～するのを助ける」
  - ・ appropriate for A 「Aに適した」
  - ・ spend A on B 「BにA(時間・お金)を使う」
  - ・ hardly any A 「Aがほとんどない」

## 【設問解説】

## 問1 ⑤ ③

多読チャレンジの狙いは、生徒が ⑤ のを助けることだった。

- ① 日本語での読書を楽しむ
- ② 本を正確に読む

- ③ 外国語でより多く読書する
- ④ 図書館をもっと頻繁に利用する

説明の第4文「私たちは、生徒が英語でもっとたくさん読むのを促すためのプログラムを始めました」より、③が正解。①、②、④は、この目的としては述べられていないので、いずれも不可。

## 問2 ⑥ ②

多読チャレンジについての1つの**事実**は ⑥ ということである。

- ① 英語で読める本が1,000冊あった
- ② 生徒の約60%が参加しなかった
- ③ 生徒は何を読むべきかを選べなかった
- ④ 学校の図書館が古くて狭い

説明の第6・7文「年度の終了時点で生徒が借りた記録を分析したところ、全校生徒300名のうち112名が参加したことがわかりました。3分の2近くは不参加でした」より、②が正解。①は、第5文に「年度が始まる前、図書館に英語の本を400冊以上追加してもらいました」とあるが、合計が1,000冊になったかどうかの記述はないので、不可。③は、第3・4文「自分が読む英語の本を生徒自身が選べるとしたらどうでしょう。私たちは、生徒が英語でもっとたくさん読むのを促すためのプログラムを始めました」より、不可。④については述べられていないので、不可。

## 問3 ⑦ ④

フィードバックから、多読チャレンジ中に参加者が ⑦ のは明らかである。

A：フィクションよりもノンフィクションの方を楽しんでいた

B：適切な本を選ぶのを助けてもらっていた

C：有名な物語を読んでいた

D：英語のテストのために勉強していた

- ① AとB
- ② AとC
- ③ AとD
- ④ BとC
- ⑤ BとD
- ⑥ CとD

MBのフィードバック「嬉しいことに、私が自分に合う難しさの本を選ぶのを学校図書館の司書の方が手伝ってくれました」より、Bが当てはまる。YOのフィードバック「私は、有名な人気のある物語を翻訳で読むのではなく原語の英語で楽しく読みました。シャーロック・ホームズの物語を、一番易しいものから始めて、苦労しながら最も難しいものまですべて読みました」より、Cも当てはまる。し

たがって、④が正解。Aは、EWのフィードバック「選ばれた本の中にフィクションが多すぎて、ノンフィクションが十分にはないと感じました。科学をテーマにした本がほとんどなかったのが、わかりました」より、不可。Dは、ANのフィードバック「英語の授業で、読んだ本についてのテストがあると思ったので、最初は興味があったんだ。テストがないとわかって、参加しないことにしたよ」より、ANは多読チャレンジに参加していないことがわかるので、不可。

問4 8 ③

多読チャレンジについての参加者の意見の1つは、8ということである。

- ① 宿題と部活は読書と同じくらい重要だ
- ② それぞれの本についてテストがあり、とても難しかった
- ③ 実在の人々や出来事に関する本があまりにも少なすぎた
- ④ 難しすぎて読めない本に時間を無駄に費やした

EWのフィードバック「選ばれた本の中にフィクションが多すぎて、ノンフィクションが十分にはないと感じました」より、実在の人物や出来事を描いたノンフィクションが少なかったという意見だとわかるので、③が正解。①は、NHのフィードバック「このチャレンジのことは知っていたけれど、宿題や部活でとても忙しくてそれに時間を割く余裕はなかった」に関連するが、NHは多読チャレンジに参加していないことがわかるので、不可。②は、ANのフィードバック「英語の授業で、読んだ本についてのテストがあると思ったので、最初は興味があったんだ。テストがないとわかって、参加しないことにしたよ」に関連するが、ANは参加者に含まれないので、不可。④は、MBのフィードバック「嬉しいことに、私が自分に合う難しさの本を選ぶのを学校図書館の司書の方が手伝ってくれました。その助けがなかったら、難しすぎて読めない本に多くの時間を使っていたかもしれません」に関連するが、難しすぎる本を読んだとは述べていないので、不可。

問5 9 ②

明らかに、9は多読チャレンジに参加しなかった。

- ① ANとEW
- ② ANとNH
- ③ EWとMB
- ④ MBとYO
- ⑤ NHとYO

ANのフィードバック「テストがないとわかって、参加しないことにしたよ」と、NHのフィードバック「チャレンジのことは知っていたけれど、宿題や部活でとても忙しくてそれに時間を割く余裕はなかった」より、ANとNHが参加しなかったことがわかる。したがって、②が正解。

第3問

【全訳】

あなたは慈善活動をするのを楽しんでいて、旅行雑誌でハイチの状況に関する興味深い話を見つけました。

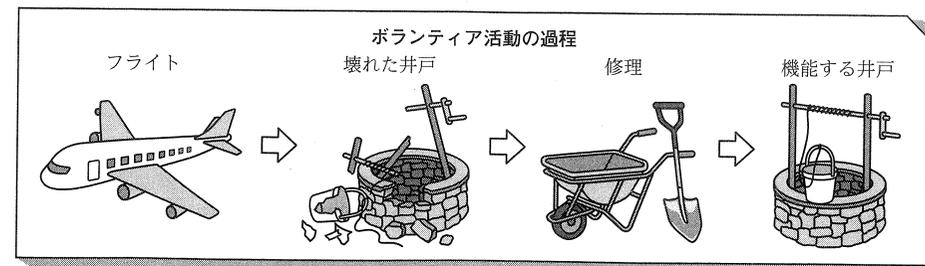
ハイチを救うために深く掘る

私は春休みの間に学校の友人とハイチまで旅行しました。しかし、それは遊びに出かけたのではなく、私たちはそこに滞在して、山あいでも暮らす人々のために井戸を掘る手助けをしたのです。元々、私は休みの間は自宅にいてテレビを見ることしかしないつもりでいましたが、インターネットで、いかに多くのハイチの人々がきれいな水を手に入れられないのかということに関する記事を読んだ後に、何か役に立つことをしなければならぬと考えるようになりました。学校の地域奉仕クラブの部長と話をした後、その島までの7時間のフライトの航空チケットを私と他の10人の部員に提供してくれる組織を見つけました。

私たちがそこに着くと、私は景色の美しさと街の色の豊かさに驚きました。しかし、小さなバスに乗って山へ入っていくと、道路はどろどろでこぼこになり、私は人々が肩に水の入ったかめを担いで運んでいるのを目にしました。運転手は、多くの井戸が最近の地震で被害を受け、そのために住民がきれいな水を手に入れることがほとんどできなくなったと私たちに教えてくれました。

私たちはそれから2週間にわたり3つの異なる村に滞在し、新しい井戸を掘り古い井戸を修理する手助けをするために、地元の建設業者の人々と一緒に働きました。誰もが私たちに実に親切で、寝るためのベッドを提供してくれただけでなく、手作りの食事朝昼晩と提供してくれて、私たちのことをその地域の仲間として扱ってくれました。旅行に出て1週間経ったときに私が高熱を出したので、チームリーダーは私をすぐにでも母国に送り返そうとしましたが、地元の医師が数人、近くの大きな村からやって来て私に薬を出してくれました。すぐに私は再び井戸を掘り始めることができるぐらい元気になったので、ほっとしました。なぜなら作業が終わる前に立ち去ることになるとしたらいやな気分になっていたからからです。

最終的に私たちのチームは10あまりの井戸の建造と修理の手助けをすることができました。私は滞在した村の1つに住むハイチ人の女の子たちと友だちになり、お互い手紙を書くこと約束しました。休みの後学校で、クラスメートにこの旅行についての発表をしたので、できれば来年は、次の旅行にボランティアをあと20人増やしたいと思っています。



## 【語句・構文解説】

- ・ charity work 「慈善活動」
- ・ dig 「掘る」

## ◆第1段落◆

- ・ break 「休暇」
- ・ ..., though 「だが…」
- ・ help *do* 「～する手助けをする」
- ・ well 「井戸」
- ・ people living in the mountains 「山あいで暮らす人々」 living 以下は people を修飾する現在分詞句。
- ・ originally 「元々は」
- ・ during *one's* time off 「休みの間に」
- ・ article 「記事」
- ・ how many people in Haiti didn't have access to clean water 「いかに多くのハイチの人々がきれいな水を手に入れられないのかということ」 感嘆文の意味を持つ名詞節。
- have access to A 「A を手に入れる」
- ・ make a difference 「重要である／差を生む」  
【例】 Walking **made a difference** to my health.  
ウォーキングは私の健康に役に立った。

- ・ community service club 「地域奉仕クラブ」
- ・ organization 「組織」
- ・ provide A with B 「A に B を提供する」

## ◆第2段落◆

- ・ how beautiful the scenery was and how colorful the cities were 「景色の美しさと街の色の豊かさ」 感嘆文の意味を持つ名詞節。
- ・ bumpy 「でこぼこの」
- ・ see O *doing* 「O が～しているのを目にする」
- ・ jug 「かめ／水差し」
- ・ inform O that SV ... 「O に…を告げる」
- ・ that many wells had been damaged in a recent earthquake, which made it almost impossible for the residents to get clean water 「多くの井戸が最近の地震で被害を受け、そのために住民がきれいな水を手に入れることがほとんどできなくなった」 which 以下は many wells had been damaged in a recent earthquake を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。
- make it impossible for A to *do* 「A が～するのを不可能にする」 it が形式目的語で for A to *do* が真目的語。
- resident 「住民」

## ◆第3段落◆

- ・ fix O 「O を修理する」
- ・ extremely 「実に」
- ・ offer A B 「A に B を提供する」
- ・ feed A B 「A に B(飲食物)を供給する」
- ・ treat A as B 「A を B として扱う」
- ・ such A that SV ... 「あまりにも A なので…」
- ・ fever 「熱」
- ・ be ready to *do* 「～する準備ができています」
- ・ I was soon healthy enough to start digging again, which was a relief 「すぐに私は再び井戸を掘り始めることができるくらい元気になったので、ほっとしました」 which 以下は I was soon healthy enough to start digging again を補足説明する非制限用法の関係代名詞節。
- 形容詞+enough to *do* 「…するほど～」
- relief 「安心／安堵」
- ・ hate to *do* 「～することをいやだと思う」

## ◆第4段落◆

- ・ assist with A 「A を手伝う」
- ・ construction 「建造」
- ・ dozen 「10あまりの／1ダースの」

## 【設問解説】

問1 [10] ㊸ [11] ㊸ [12] ㊸ [13] ㊸

次の出来事(㊸～㊸)をそれらが起きた順に並べよ。  
[10] → [11] → [12] → [13]

- ① 医師が筆者の病気の治療をした。
- ② バスの運転手がハイチの問題を説明した。
- ③ チームが井戸掘りと井戸の修理をすべて終えた。
- ④ 筆者がクラスメートにハイチに関する発表をした。

第2段落最終文「運転手は、多くの井戸が最近の地震で被害を受け、そのために住民がきれいな水を手に入れることがほとんどできなくなったと私たちに教えてくれました」より、[10]には㊸が入る。第3段落第3文「旅行に出て1週間経ったときに私が高熱を出したので、チームリーダーは私をすぐにも母国に送り返そうとしましたが、地元の医師が数人、近くの大きな村からやって来て私に薬を出してくれました」より、[11]には㊸が入る。最終段落第1文「最終的に私たちのチームは10あまりの井戸の建造と修理の手助けをすることができました」より、[12]には㊸が入る。同段落最終文「休みの後学校で、クラスメートにこの旅行についての発表をしたので、できれば来年は、次の旅行にボランティアをあと20人増やしたいと思っています」よ

り、[13]には㊸が入る。

問2 [14] ㊸

多くのハイチの村が新しい井戸を必要としていた主な理由は [14] からだった。

- ① 自然災害が彼らの普段の水源地に被害を与えていた
- ② 病気が既存の水道設備を通して急速に広まっていた
- ③ 住民が水を求めて並んで待つのにあまりにも時間をかけすぎている
- ④ より人口の多い地域から水を運んでくるのに、お金がかかりすぎている

第2段落最終文「運転手は、多くの井戸が最近の地震で被害を受け、そのために住民がきれいな水を手に入れることがほとんどできなくなったと私たちに教えてくれました」より、㊸が正解。㊸, ㊸, ㊸については述べられていないので、不可。

問3 [15] ㊸

この話から、筆者が [15] とわかる。

- ① 村民を手助けすることに献身的に関わった
- ② 自由時間に島を探検した
- ③ より多くのクラスメートにハイチで休暇を楽しむように説得した
- ④ 井戸に関するプロジェクトが完了したらよかったのと思った

第1段落最終文「学校の地域奉仕クラブの部長と話をした後、その島までの7時間のフライトの航空チケットを私と他の10人の部員に提供してくれる組織を見つけました」、第3段落第1文「私たちはそれから2週間にわたり3つの異なる村に滞在し、新しい井戸を掘り古い井戸を修理する手助けをするために、地元の建設業者の人々と一緒に働きました」、同段落最終文「すぐに私は再び井戸を掘り始めることができるくらい元気になったので、ほっとしました。なぜなら作業が終わる前に立ち去ることになるとしたらいやな気分になっていただろうからです」、最終段落第1文「最終的に私たちのチームは10あまりの井戸の建造と修理の手助けをすることができました」より、㊸が正解。㊸については述べられていないので、不可。㊸は、最終段落最終文に「休みの後学校で、クラスメートにこの旅行についての発表をしたので、できれば来年は、次の旅行にボランティアをあと20人増やしたいと思っています」とあるが、「より多くのクラスメートにハイチで休暇を楽しむように説得した」とは述べられていないので、不可。㊸は、上記最終段落第1文より、井戸に関するプロジェクトは完了したとわかるので、

不可。

第4問  
【全訳】

英語の授業で、あなたは自分が関心のある社会問題についてレポートを書いています。これがあなたの一番最新の原稿です。あなたは今、先生からのコメントに基づいて、修正に取り組んでいます。

企業における食品廃棄の削減戦略	コメント
<p>増え続ける食品廃棄の問題に取り組むため、企業は食品の無駄を避ける新しい方法を見つける必要がある。これは地球にとってよいことで、お金も節約できる。このエッセイでは、廃棄される食品の量を減らすための3つの方法を取り上げる。</p>	<p>(1)ここに<u>つなぎの言葉</u>を挿入しましょう。</p>
<p>まず、企業は食品の販売量をより正確に予測する必要がある。データと市場動向を調べることで、顧客がどれくらいの量の食品を購入するかをより正確に見積もることができる。<sup>(1)</sup> <u>余分な食品を作りすぎて廃棄する可能性が低くなる。</u></p>	<p>(2)ここに<u>何かが抜けています</u>。2つの文の間に<u>情報を加えて、つなげる</u>ようにしましょう。</p>
<p>次に、食品の賞味期限のルールを見直すことが重要である。多くの場合、パッケージに記載されている日付は実際よりも早くなる。<sup>(2)</sup> <u>賞味期限に関する研究をさらに進め、より柔軟な賞味期限のガイドラインを確立することで、廃棄される食品の量を削減することが可能となる</u>だろう。</p>	<p>(3)この<u>トピックセンテンスはこの段落の内容にはあまり合っていない</u>。書き換えましょう。</p>
<p>もう1つのよい方法は、<sup>(3)</sup> <u>食品を割引価格で販売する広告</u>を使用することである。フードシェアリングアプリを使用すると、企業は売れ残りを困っている人々や慈善団体に提供できる。これにより、人々は売れ残る可能性があるがまだ食べられる食品を購入したり受け取ったりすることができる。</p>	<p>(4) <u>下線を引いた表現は、あなたのレポートの内容をうまく要約していません</u>。変更しましょう。</p>
<p>結論として、どのような食品が販売できるかを予測すること、<sup>(4)</sup> <u>賞味期限を表示しないこと</u>、そして余剰食品を分かち合うアプリを活用することで、企業は食品廃棄を避ける努力をすることができる。これは環境にとっても、ビジネスにとっても、そして誰にとっても良いことだ。新しいやり方を始めるには変化が必要なのだ。</p>	

【語句・構文解説】

- ・ essay 「レポート／小論文」
- ・ social issue 「社会問題」
- ・ draft 「原稿」
- ・ work on A 「Aに取り組む」
- ・ revision 「修正」
- ・ based on A 「Aに基づいて」
- ・ strategy 「戦略」
- ・ reduce O 「Oを減らす」
- ・ food waste 「食品廃棄(物)／生ゴミ」

◆第1段落◆

- ・ tackle O 「O(難問など)に取り組む」
- ・ waste O 「Oを無駄にする」
- ・ the planet 「地球」
- ・ highlight O 「Oを目立たせる／強調する」

◆第2段落◆

- ・ accurate 「正確な」
- ・ prediction 「予測」
- ・ market trends 「市場動向」
- ・ estimate O 「Oを見積もる」
- ・ customer 「顧客」
- ・ be likely to do 「～する可能性が高い」
- ・ excess 「余分な／過剰な」
- ・ throw O away 「Oを廃棄する」

◆第3段落◆

- ・ review O 「Oを再検討する／見直す」
- ・ best-before date 「賞味期限」
- ・ packaging 「包装／パッケージ」
- ・ conduct research 「調査を行う」
- ・ establish O 「Oを確立する」
- ・ flexible 「柔軟な」

◆第4段落◆

- ・ advertising 「広告」
- ・ at a discount 「割引きして」
- ・ app 「アプリ」
- ・ allow O to do 「Oが～するのを許す／可能にする」
- ・ leftover 「売れ残り」
- ・ in need 「困窮している／困っている」
- ・ charity 「慈善団体」
- ・ go unsold 「売れ残る」
- ・ edible 「(安全で)食べられる」

◆第5段落◆

- ・ anticipate O 「Oを予測する」
- ・ utilize O 「Oを活用する」
- ・ surplus 「余分な／余剰の」
- ・ make an effort to do 「～する努力をする」
- ・ require O 「Oを必要とする」

◆コメント◆

- ・ insert O 「Oを挿入する」
- ・ connect O 「Oをつなぐ／接続する」
- ・ be missing O 「O(あるべきもの)を欠いている」

【設問解説】

問1 [16] ①

コメント(1)に基づくと、付け加えるのに最もよい表現はどれか。 [16]

- ① その結果、
- ② たとえば、
- ③ 対照的に、
- ④ その一方で、

第2段落の第2文と第3文は、第2文「データと市場動向を調べることで、顧客がどれくらいの量の食品を購入するかをより正確に見積もることができる」ようになれば、その結果として、第3文「余分な食品を作りすぎて廃棄する可能性が低くなる」という論理関係にある。よって、①が正解。

問2 [17] ④

コメント(2)に基づくと、付け加えるのに最もよい文はどれか? [17]

- ① 安全な食品と安全でない食品の区別が難しいからである。
- ② これが、危険な食品に関する警告が義務ではない理由である。
- ③ このため、安全に消費されるまで食品を保存することができない。
- ④ これでは、まだ食べても安全なのに食品が廃棄されることになる。

第3段落の第2文の「多くの場合、パッケージに記載されている日付は実際よりも早くなる」という内容を受けて、空所(2)に④の「これでは(=賞味期限が早めだと)、まだ食べても安全なのに食品が廃棄されることになる」という内容を追加すると自然なつながりになる。よって、④が正解。

問3 [18] ②

コメント(3)に基づくと、トピックセンテンスを書き換えるのに最も適切な方法はどれか。 [18]

- ① 不足している食品を購入または寄付するアプリ
- ② 余った食品を販売または寄付するアプリ
- ③ どの食品が必要かをチェックする SNS
- ④ 余った食品を処分する SNS

第4段落の第1文を「もう1つのよい方法は、②余った食品を販売または寄付するアプリを使用することである」という内容に書き換えると、第2文「フードシェアリングアプリを使用すると、企業は売れ残りを困っている人々や慈善団体に提供でき

私の考え...という考  
と組み合わせ...research  
になり...は  
した...の...だけ...の

る」と自然につながるの、②が正解。他の選択肢ではつながりが不自然になるので、不可。

問4 19 ④

コメント(4)に基づくと、代替案として最もよいのはどれか。19

- ① 顧客満足を獲得すること
- ② 食品廃棄物を法的に規制すること
- ③ 生産コストを削減すること
- ④ より適切な賞味期限を設定すること

In conclusion で始まる第5段落は、第2～4段落の内容をまとめており、下線部(4)が第3段落の「食品の賞味期限のルールを見直すこと」という内容の要約にあたるので、④が正解。①、②、③は、第3段落の内容を要約したものではないので、不可。

第5問

【全訳】

あなたは先生から、成長についての2つの記事を読むよ  
の授業で論じる予定です。

成長型思考：プロセスを重視する

ヴィヴィアン・ベルウェザー  
キャリアカウンセラー、マウンテンビュー・イーストハイス

私の仕事の重要な部分は、学校で苦勞している生徒と面談をすることだ。私が、  
共通点は、彼らのほとんどが、心理学者が呼ぶところの「固定型思考」を持っている。  
簡単に言えば、彼らは、変えることが難しい、あるいは不可能でさえあるアイデンティ  
自分自身が持っていると考えている。これにより、幼い頃に学校の成績がよくない生徒は、  
段階で自分の成績をよくすることができると思えることが難しくなることがある。だが、この  
問題は成績の低い生徒だけに当てはまるわけではない。幼い頃に授業で成績のよかった生徒が自  
分を生まれつき才能があると考え、よい成績をとるために必要となる努力をすることを後になっ  
てやめてしまうこともしばしばある。

だから、「成長型思考」は非常に重要なのだ。基本的に、成長型思考は人に、結果についてより  
も向上するその過程についてはるかによく考えるよう促す。例えば、数学のテストでよい成績を  
とる生徒は、頭がよいことに対してではなく、高得点をとるために行った努力に対してほめられ  
べきだ。

成長型思考は最終的には多くの理由で影響を及ぼすことになる。1つには、結果は自分の思う  
ようにするのが難しいが、学習の過程はそうではない。第2に、それは若い人に、よくない結果  
は、成功するには自分が力不足だという証拠なのではなく、克服することが可能で実際に克服さ  
れるであろう試練とみなすことを教える。最後に、成長型思考は、人々に正しいやり方で物事を  
行うことに誇りを持つよう教えることによって、彼らが後の人生で向上し成長し続ける助けとな  
るだろう。

そして、これが成長型思考の最も重要な部分なのだが、その応用は、学校をはるかに超え  
て、私たちの職業生活や個人生活にまで入ってくるのだ。だから覚えておいて欲しい、あなたに  
できないことなど何もない — まだ、できるようになっていないことがあるだけだ、ということ。

2つの思考

固定型思考	成長型思考
知能は先天的なものである。	知能は向上させられる。
有益な否定的フィードバックが無視される。	フィードバックは学びの機会である。

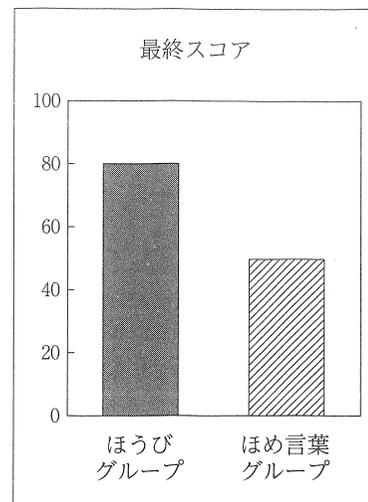
成果に向かって突き進む価値

ファビアン・モラレス  
教頭、マウンテンビュー・ウエストハイスクール

成長型思考については、この10年にわたって盛んに議論されている。教育家から研究者に至  
るまで教育に携わる世界中の人々が、自分自身が向上できると考えるよう人に促すことは信じら  
れないほど役に立つ、ということ意見が一致している。私たちはこの種の励ましによって、確  
実に、生徒を学校卒業後にも成功へと導くようにしなければいけない。というのも、若い人た  
ちはいったん労働人口に組み込まれてしまうと、成果を出すように求められるからだ。

私の考えでは、成長型思考が最も効果を発揮するのは、それが明確に特定され表現された目標と組み合わせられたときである。こうした目標がなければ、向上の過程はあいまいで無意味なものになり得る。どんなに小さな進歩でもやはり進歩ではあるが、生徒の学習速度があまりに遅いとしたらどうだろう。あるいは、彼らの示している進歩がF(落第点の成績)からD(最低合格ラインの成績)へのものとしたらどうだろう。ある時点では、単に「私は昨日より成長した」と言うだけでは十分ではない。ときには誰もが後押しが必要であり、それは目標を設定すること、目標に到達すること、そしてその成功を祝福することという形態で現れる場合がある。

人々は抽象的な過程よりも具体的な目標によりよい反応を示す、という考えを裏付ける研究がある。昨年行われたある大規模な研究では、ほうび(10ドル)によって動機づけられた生徒の行動と、努力に対するほめ言葉を受け取った生徒の行動とを比較した。生徒はパズルを解くことから体力を測る運動に至るまで、様々な課題をこなすよう求められた。最終スコアの合計が計算されると、ほうびグループのスコアの方が高く、この発見は無作為に抽出された何十もの研究に一貫して当てはまった。ここでの教訓は明らかである。動機づけとなるほうびがあると、ほとんどの人々がそれを獲得するために必死に頑張るとのことだ。



【語句・構文解説】

・growth mindset 「成長型思考」 経験や努力によって人間は成長できる、という考え方。

〈ヴィヴィアン・ベルウェザー〉

◆第1段落◆

・meet with A 「Aと面談をする／会談する」  
 ・struggling 「苦労している／奮闘している」  
 ・what S call ~ 「Sが呼ぶところの～／いわゆる～」  
 ・fixed mindset 「固定型思考」 成長型思考と対を成すもので、生まれ持った能力によって人生が決まるという考え方。この考え方の人は失敗するとすぐにあきらめる傾向が強い。

・to put it simply 「簡単に言えば」  
 ・think of A as B 「AをBだと考える／みなす」 (=see A as B / view A as B)

・S is difficult [impossible] to do 「Sは～するのが難しい[不可能だ]」

[例] The concept of infinite space is difficult to grasp.

無限の宇宙という概念は理解するのが難しい。

・cause O to do 「Oが～する原因になる／Oに～させる」

・perform poorly in school 「学校の成績がよくない」

・have trouble doing 「～するのが難しい」

・apply to A 「Aに当てはまる／適用される」  
 ・naturally talented 「生まれつき才能がある」  
 ・put in the effort 「努力をする」  
 ・the effort required to get good grades 「よい成績をとるために必要となる努力」 required 以下は the effort を修飾する過去分詞句。

◆第2段落◆

・This is why SV ... 「だから…／こういうわけで…」  
 ・encourage O to do 「Oに～するよう促す」  
 ・outcome 「結果」  
 ・compliment A for B 「BのことでAをほめる」  
 ・smart 「頭がよい／利口な」  
 ・the hard work they put into achieving the high score 「高得点をとるために行った努力」 they 以下は the hard work を修飾する節。  
 put hard work into doing 「～するために努力する」

◆第3段落◆

・end up doing 「最終的には～する／結局～する」  
 ・a number of A 「多くのA／いくつかのA」  
 ・for one thing 「1つには」  
 ・the process of learning isn't 「学習の過程はそうではない」 the process of learning isn't (hard to control) のように省略を補って考えることができる。

・challenge 「試練／難題」  
 ・overcome O 「Oを克服する／乗り越える」  
 ・as opposed to A 「Aではなく／Aと対照的に」  
 [例] Jack made useful suggestions about the plan, as opposed to simply criticizing it.  
 ジャックはその計画をただ批判するだけではなく、それについて有益な提案をした。  
 ・take pride in A 「Aに誇りを持つ」

◆第4段落◆

・application 「応用／利用」  
 ・extend far beyond A 「Aをはるかに超えて伸びる」  
 ・there's nothing you can't do 「あなたにできないことなど何もない」 you 以下は nothing を修飾する節。  
 ・there are just things you haven't learned to do yet 「まだ、できるようになっていないことがあるだけだ」 you 以下は things を修飾する節。  
 learn to do 「～できるようになる／～することを学ぶ」

〈ファビアン・モラレス〉

・assistant principal 「教頭」

◆第1段落◆

・academics 「教育に携わる人／大学教員」  
 ・agree that SV ... 「…ということで意見が一致している」  
 ・capable of A 「Aができる」  
 ・incredibly 「信じられないほど／驚くほど」  
 ・make sure that SV ... 「確実に…にする」  
 ・lead to A 「Aにつながる／結びつく」  
 ・after all 「(主に文頭で)というのも～だから／だって～なのだから」  
 ・once SV ... 「いったん…したら」  
 ・enter the workforce 「労働人口に組み込まれる」

◆第2段落◆

・be paired with A 「Aと組み合わせられる」  
 ・identify O 「Oを特定する」  
 ・vague 「あいまいな」  
 ・still 「やはり／それでも」  
 ・what if SV ...? 「もし…ならどうなるだろうか」  
 ・Or if the progress they are making is ...? 「あるいは、彼らの示している進歩が…だとしたらどうだろう」 ifの前に what が省略されている。  
 the progress they are making 「彼らの示している進歩」 they 以下は the progress を修飾する節。  
 ・failing 「(成績が)落第点の」  
 ・passing 「(成績が)合格点の」  
 ・boost 「後押し／励まし」

◆第3段落◆

・research supporting the idea that ... 「…という考えを裏付ける研究」 supporting 以下は research を修飾する現在分詞句。  
 support O 「O(理論など)を裏付ける」  
 ・respond to A 「Aに反応する」  
 ・abstract 「抽象的な」  
 ・One major study, performed last year 「昨年行われたある大規模な研究」 performed 以下は、直前の One major study に補足説明を加える過去分詞句。  
 ・compare A with B 「AとBとを比較する」  
 ・be motivated by A 「Aに動機づけられる」  
 ・praise 「ほめ言葉／賞賛」  
 ・a variety of A 「様々なA」  
 ・physical fitness exercise 「体力を測る運動」  
 ・add up O / add O up 「Oの合計を計算する」  
 ・hold true 「当てはまる／本当である」  
 ・dozens of A 「何十ものA／多くのA」  
 ・randomized 「無作為に抽出された」  
 ・attain O 「Oを獲得する／達成する」

【設問解説】

問1 20 ④

ベルウェザーによると、固定型思考は 20 にとって問題となる。

- ① 特に頭のよい生徒だけ
- ② あまり才能のない生徒だけ
- ③ 平均的な成績の生徒だけ
- ④ 様々な能力の生徒

ベルウェザーの記事の第1段落第1・2文「私の仕事の重要な部分は、学校で苦労している生徒と面談することだ。私が気づいた1つの共通点は、彼らのほとんどが、心理学者が呼ぶところの『固定型思考』を持っていることである。および同段落最終文「だが、この問題(=固定型思考を持ってしまうこと)は成績の低い生徒だけに当てはまるわけでない。幼い頃に授業で成績のよかった生徒が自分を生まれつき才能があると考え、よい成績をとるために必要となる努力をすることを後になってやめてしまうこともしばしばある」より、④が正解。①と②は、上記の3文よりいずれも不可。③については述べられていないので、不可。

問2 21 ③

モラレスは 21 と信じている。

- ① 達成はほうびにつながる
- ② 苦労して獲得した勝利は無意味である
- ③ ささやかな向上はほとんど無益なことがある
- ④ 言葉によるサポートはより効果がある

モラレスの記事の第2段落第3～5文「どんなに小さな進歩でもやはり進歩ではあるが、生徒の学習速度があまりに遅いとしたらどうだろう。あるいは、彼らの示している進歩がF(落第点の成績)からD(最低合格ラインの成績)へのものだとしたらどうだろう。ある時点では、単に『私は昨日より成長した』と言うだけでは十分ではない」より、モラレスはささやかな向上はあまり有益ではないと信じているとわかるので、③が正解。①は、最終段落第4文「最終スコアの合計が計算されると、ほうびグループのスコアの方が高く、この発見は無作為に抽出された何十もの研究に一貫して当てはまった」に関連するが、モラレスが「達成がほうびにつながる」と信じているとは述べられていないので、不可。②については述べられていないので、不可。④は、上記最終段落第4文と棒グラフより、ほうびの方がほめ言葉よりも効果が高いとわかるので、不可。

問3 [22] ① [23] ③

モラレスはベルウェザーによって支持されているアプローチを強化するためには [22] 目標を設定することの重要性を強調しており、ベルウェザーは生徒に学習のための [23] アプローチを与えることを目指している。(①～⑥の選択肢のうちからそれぞれの空所に入れるのに最適なものを1つずつ選べ。)

- ① 明確な
- ② 複雑な
- ③ 一貫した
- ④ 突然的
- ⑤ 一時的な
- ⑥ 伝統的な

モラレスの第2段落第1文「私の考えでは、成長型思考が最も効果を発揮するのは、それが明確に特定され表現された目標と組み合わせられたときである」より、[22] には①が入る。ベルウェザーの第2段落第2文「基本的に、成長型思考は人に、結果についてよりも向上するその過程についてはかによく考えるよう促す」と、第3段落第2文「1つには、結果は自分の思うようにするのが難しいが、学習の過程はそうではない」より、成長型思考では結果よりも過程を重視しており、一貫した、継続的学習アプローチを生徒に与えることを目指すと考えられる。したがって、[23] には③が入る。

問4 [24] ④

どちらの筆者も、[24] が人々の成長の重要な部分であるということで意見が一致している。

- ① 組織化されたテスト
- ② 親のサポート

③ 個人的な満足

④ 学校にとどまらない成功

ベルウェザーは最終段落第1・2文で「そして、これが成長型思考の最も重要な部分なのだが、その応用は、学校をはるかに超えて、私たちの職業生活や個人生活にまで入ってくるのだ」と述べている。また、モラレスは第1段落第3・最終文で「私たちはこの種の励ましによって、確実に、生徒を学校卒業後にも成功へと導くようにしなければいけない。というのも、若い人たちはいったん労働人口に組み込まれてしまうと、成果を出すように求められるからだ」と述べている。よって、2人の筆者はどちらも、学校を超えた成功が人々の成長の重要な部分であると述べているとわかるので、④が正解。

問5 [25] ②

成果に焦点を当てることを重視するモラレスの議論をさらに裏付けるためには、どの追加情報が最適か。[25]

- ① 教育の未来に関する彼の個人的な理論
- ② 異なるタイプのほうびが生徒の行動にどのように影響を及ぼすか
- ③ 研究の中の生徒がどんな体力測定課題を行ったか
- ④ 研究の中の生徒がどんなパズルを解くのを楽しんだか

モラレスは最終段落で、ほうびとほめ言葉による動機づけを与えた場合の、生徒の行動を比較した研究について述べているので、モラレスの議論をさらに裏付けるための追加情報としては、「異なるタイプのほうびが生徒の行動にどんな影響を及ぼすか」が最も適当である。したがって、②が正解。①は、モラレスは教育の未来については述べていないので、不可。③と④は、同段落第3文「生徒はパズルを解くことから体力を測る運動に至るまで、様々な課題をこなすよう求められた」に関連するが、モラレスの記事の中心的なテーマは学習の成果であって、「生徒がどんな体力測定課題を行ったか」や「生徒がどんなパズルを解くのを楽しんだか」というプロセスではないので、不可。

第6問

【全訳】

あなたは、対面授業とオンライン授業のどちらが望ましいかというテーマでレポートに取り組んでいます。以下のステップに従います。

- ステップ1：対面授業とオンライン授業に関する様々な観点を読んで理解する。
- ステップ2：対面授業とオンライン授業のどちらが望ましいかを決定する。
- ステップ3：追加の情報源を使ってレポートのアウトラインを作る。

【ステップ1】様々な資料を読む

筆者A(高校生)

生徒が同じ場所にいるため、教師や友だちとコミュニケーションが取りやすく、それが対面授業の有利な点の一つです。生徒は理解できないことについて直接教師に質問することができ、また一緒にグループプロジェクトに取り組むことでお互いの絆を強めます。対面授業では、生徒がクラスメートと交流し協力する機会が増えるだけでなく、グループディスカッションに参加する機会も増えます。これにより、生徒の社交性と協調性のスキルが向上します。

筆者B(弁護士)

教育の形態を選択することは、基本的な人権です。個々の生徒には、その状況や好みに最も適した教育環境を選択する権利があります。どちらの教育環境がより適切かは、生徒の学習スタイル、家庭環境、健康状態によって異なります。学習方法は人それぞれであり、異なる環境で教育を受けることもあります。一部の生徒は、対面授業で交流し協力することを好み、教室の雰囲気や彼らの学習に好影響を与えることができます。一方、オンライン授業には融通性があり、時間や場所の制約を受けずに学習できるという有利な点があります。

筆者C(実業家)

対面授業では、すべての生徒が同じトピックに同じ時間を費やすため、一部の生徒がより難しい内容を理解できない場合に遅れてしまう可能性があります。しかし、オンライン授業では、これらの難しいトピックに追いつくために余分な時間をかける柔軟性が生徒に与えられます。自分のペースと理解度に合わせて、各トピックをより深く学ぶことができます。難しい概念に遭遇した場合、授業の録画が利用可能であれば、録画された授業のその部分を何度も繰り返して復習することができます。これにより、生徒はあるトピックを完全に理解し、自信を持って次に進むことができるまでそのトピックに取り組むことができます。

筆者D(教師)

対面授業では、生徒は物理的に教師や友だちと会うことができ、孤独感を感じる事が少なくなります。周りの友だちが勉強に真剣に取り組んでいるのを見ると、生徒の学習意欲も高まります。クラスメートが積極的に授業に参加し、質問し、ディスカッションに参加しているのを

見ると、自分も同じようにしようという気になります。学習への情熱が共有され、クラス全体に協力と成長の雰囲気が育まれます。これにより、学習の質と成果が向上することが期待されます。

**筆者E (社会学者)**

オンライン授業にはいくつか有利な点があります。第一に、生徒は自宅や他の場所からオンライン授業にアクセスでき、通学に関わる時間や交通費を節約できます。通学時間がなくなることによって、生徒は趣味やその他の活動を楽しむ自由時間が増えます。これにより生徒のストレスが軽減され、よりバランスの取れたライフスタイルが促進されます。さらに、生徒が何らかの理由で通学できない状況に対しても、オンライン授業は非常に柔軟に対応できます。病気、悪天候、交通問題の場合でも、生徒はどこにいてもオンライン授業を受けることができます。この柔軟性は生徒が自分のペースで学習するのに役立ち、学習の継続性を提供します。

**[ステップ2] 立場を決める**

あなたの立場：対面授業の方が望ましい。

- ・筆者 [28] と [29] はあなたの立場を支持している。
- ・二人の筆者の主な論点： [30]。

**[ステップ3] 資料AとBを使ってアウトラインを作る**

あなたのレポートのアウトライン：

対面授業の方が望ましい。

**導入**

対面授業とオンライン授業の両方に利点がある。しかし、オンライン授業の欠点に焦点を当てるのが重要だ。

**本文**

理由1：[ステップ2より]

理由2：[資料Aに基づいて] …… [31]

理由3：[資料Bに基づいて] …… [32]

**結論**

オンライン授業のこれらの欠点を踏まえると、対面授業の利点の方がより重要である。

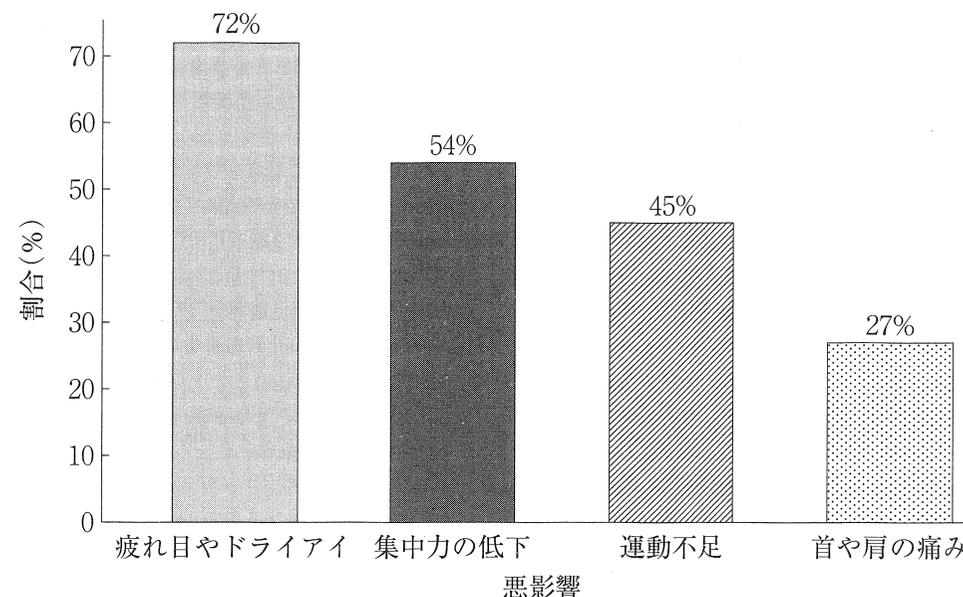
**資料A**

オンライン授業を受けるには、適切な機器と高速インターネット接続が必要だ。しかし、これらの条件を満たすにはある一定の費用がかかる。一部の家庭では、コンピューターやブロードバンド・インターネット接続に使える十分な資金を用意できず、その結果、子どもたちの教育へのアクセスが制限される場合がある。オンライン授業へのアクセスは、地理的な位置にも大きく影響されかねない。都市部に比べ田舎では、高速インターネットへのアクセスが限られている場合がある。さらに、家庭環境によっては、静かな専用の勉強スペースがないことがある。子どもの多い世帯では、勉強スペースを共有しなければならなかったり、騒音やその他の家庭の事情で集中するのが難しい環境で生徒が勉強しなければならなかったりする。このような理由から、オンライン授業が普及するにつれ、不利な学習状況にいる生徒は学業で遅れをとる可能性がより高くなる。これは、教育格差を助長し、社会的不平等を拡大する可能性がある。

**資料B**

フランスで行われた調査によると、多くの10代の若者がオンライン学習から悪影響を受けていることがわかった。この調査は、13歳から18歳の約1,000人の生徒を対象に行われた。下のグラフは、オンライン授業による悪影響の具体例と、それを経験した生徒の割合を示している。

オンライン授業の悪影響を経験している生徒の割合



**【語句・構文解説】**

- ・ work on A 「Aに取り組む」
- ・ essay 「レポート/小論文」

- ・ face-to-face class 「対面授業」
- ・ online class 「オンライン授業」
- ・ desirable 「望ましい」

- ・ additional 「追加の」
- ・ source 「資料／情報源」

## [ステップ1]

## ◆筆者A◆

- ・ communicate with A 「A とコミュニケーションを図る」
- ・ strengthen O 「O を強化する」
- ・ bond 「絆」
- ・ interact with A 「A と交流する」
- ・ collaborate with A 「A と共同で行う／協力する」
- ・ participate in A 「A に参加する」
- ・ help (O) do 「(O が) ~するのに役立つ」
- ・ improve O 「O を改善する／向上させる」
- ・ social skill 「社会的技能／社交性のスキル」
- ・ cooperative skill 「協力的技能／協調性のスキル」

## ◆筆者B◆

- ・ choice 「選択」
- ・ fundamental 「基本的な」
- ・ human right 「人権」
- ・ individual 「個々の／それぞれの」
- ・ right to do 「~する権利」
- ・ suit O 「O に適している」
- ・ preference 「好み」
- ・ appropriate 「適切な」
- ・ depend on A 「A 次第である／A による」
- ・ atmosphere 「雰囲気」
- ・ positive impact 「好影響」
- ・ flexibility 「柔軟性／融通性」
- ・ limitation 「制限／制約」

## ◆筆者C◆

- ・ fall behind 「後れを取る」
- ・ content 「内容」
- ・ catch up on A 「A に追いつく／A について遅れを取り戻す」
- ・ challenging 「困難な／困難だがやりがいのある」
- ・ encounter O 「O に遭遇する」
- ・ concept 「概念／考え方」
- ・ review O 「O を復習する」
- ・ recorded 「録画された」
- ・ over and over again 「何度も繰り返して」
- ・ recording of A 「A を録画したもの」
- ・ available 「利用可能な」
- ・ allow O to do 「O が~するのを許す／可能にする」
- ・ confident 「自信を持っている」
- ・ move on 「先へ進む」

## ◆筆者D◆

- ・ physically 「物理的に」

- ・ feel alone 「孤独を感じる」
- ・ motivate O to do 「O に~する動機[意欲]を与える」
- ・ take O seriously 「O を真剣に受け止める／真面目に考える」
- ・ engage in A 「A(行為など)を行う」
- ・ encourage O to do 「O に~するよう奨励する／仕向ける」
- ・ passion for A 「A に対する情熱」
- ・ collaboration 「共同製作／共同研究／協力」
- ・ foster O 「O を育む／促進する」
- ・ be expected to do 「~することが期待される」
- ・ outcome 「結果」

## ◆筆者E◆

- ・ access O 「O(ネットワークなど)にアクセスする／接続する」
- ・ transportation cost 「交通費」
- ・ time and transportation costs associated with commuting to school 「通学に関わる時間や交通費」 associated with commuting to school は, time and transportation costs を修飾する過去分詞句。
- ・ commute to A 「A に通う」
- ・ eliminate O 「O を削除する」
- ・ commuting time 「通学時間」
- ・ reduce O 「O を減らす」
- ・ promote O 「O を促進する」
- ・ balanced 「バランスの取れた」
- ・ flexible 「柔軟な／融通の利く」
- ・ in the event of A 「A の場合には」
- ・ continuity 「連続性／継続性」

## [ステップ3]

- ・ focus on A 「A に焦点を絞る／集中する」
- ・ disadvantage 「欠点／デメリット」
- ・ significant 「重要である」

## ◆資料A◆

- ・ equipment 「装備／機器」
- ・ meet a requirement 「条件を満たす」
- ・ certain 「ある一定の」
- ・ sufficient funds available for computers or broadband internet access 「コンピューターやブロードバンド・インターネット接続に使える十分な資金」 available for computers or broadband internet access は, sufficient funds を修飾する形容詞句。
- ・ limit O 「O を制限する」
- ・ affect O 「O に影響を与える」
- ・ geographic location 「地理的な位置」
- ・ compared to A 「A と比べて」

- ・ urban area 「都市部／市街地」
- ・ rural area 「農村地域／田舎」
- ・ lack of A 「A の欠如／A がないこと」
- ・ dedicated space 「専用スペース」
- ・ household 「世帯」
- ・ be required to do 「~することが要求される／~しなければならない」
- ・ concentrate 「集中する」
- ・ widespread 「普及している」
- ・ unfavorable 「不利な」
- ・ be likely to do 「~する可能性が高い」
- ・ academically 「学業に関して」
- ・ contribute to A 「A の一因となる」
- ・ educational disparity 「教育格差」
- ・ social inequality 「社会的不平等」

## ◆資料B◆

- ・ negative effect 「悪影響」
- ・ conduct a survey 「調査を行う」
- ・ approximately 「(数量などが)おおよそ／約」

## [設問解説]

## 問1 [26] ④

筆者CとEはどちらも [26] に言及している。

- ① 通学時間を節約することができるという有利な点
- ② 価格とアクセスのしやすさという点におけるオンライン授業の有利な点
- ③ 教師に質問できるという利点
- ④ 自分のペースで進められる学習という点におけるオンライン授業の利点

筆者Cの第3文「自分のペースと理解度に合わせて、各トピックをより深く学ぶことができます」と、筆者Eの第7文「この柔軟性は生徒が自分のペースで学習するのに役立つ」より、④が正解。①は、筆者Eの第3文に「通学時間がなくなることで、生徒は趣味やその他の活動を楽しむ自由時間が増えます」とあるが、筆者Cは言及していないので、不可。②の「価格」についてはどちらも言及していないので、不可。③についてもどちらも言及していないので、不可。

## 問2 [27] ④

筆者Bは、[27] と示唆している。

- ① 対面授業とオンライン授業の選択肢があることは、生徒の学習スタイルに大きな影響を与える
- ② 人々には多様な学習スタイルがあるが、最も効果的な教育に個人差はない
- ③ 生徒は、最低限の義務教育を受ける教育環境を自由に選択できる

- ④ 生徒は対面であれオンラインであれ、自分に最も適した教育環境を選択できるべきである

筆者Bの第2文に「個々の生徒には、その状況や好みにも最も適した教育環境を選択する権利があります」とあるので、④が正解。①、③については述べられていないので、不可。②は、第4文に「学習方法は人それぞれ」とあるが、「最も効果的な教育に個人差はない」とは述べられていないので、不可。

## 問3 [28]・[29] ①・④(順不同) [30] ②

あなたは様々な視点を理解したので、対面授業とオンライン授業のどちらが望ましいかを決め、以下のように書いた。[28], [29], [30] を埋めるのに最も適切な選択肢を選べ。

あなたの立場：対面授業の方が望ましい。

・筆者 [28] と [29] はあなたの立場を支持している。

・二人の筆者の主な論点： [30]。

[28] と [29] の選択肢(順不同)。

- ① A
- ② B
- ③ C
- ④ D
- ⑤ E

「対面授業の方が望ましい」というあなたの立場を支持する内容として、対面授業の利点を述べているのは筆者Aと筆者Dである。したがって、①と④が正解。

[30] の選択肢。

- ① 対面授業には、生徒の議論を学問的な客観性を持って観察できるという有利な点がある
- ② 対面授業には、直接的な交流を通じたより良いコミュニケーション、より強固な関係性、モチベーションの向上という有利な点がある
- ③ 対面授業の有利な点には、テストの成績がより高いこと、自己学習がよりしやすいこと、親と教師とのより緊密な協力が含まれる
- ④ 対面授業の有利な点には、教室から物理的に離れることによって高まる社交性のスキルが含まれる

筆者Aの第1文「教師や友だちとのコミュニケーションが取りやすい」と第3文「生徒がクラスメートと交流し協力する機会が増える」、筆者Dの第2文「周りの友だちが勉強に真剣に取り組んでいるのを見ると、生徒の学習意欲も高まります」という内容より、②が正解。①と③は、筆者Aと筆者Dのどちらも述べていないので、不可。④は、筆者Aの第4文に「生徒の社交性と協調性のスキルが向上

します」とあるが、「教室から物理的に離れることによって高まる社交性のスキル」とは述べられていないので、不可。

問4 **31** ㉔

資料Aに基づく、理由2に最も適切なものは次のうちどれか。**31**

- ① 都市部では、田舎に比べて高速インターネットへのアクセスが限られている。
- ② 経済的な理由でオンライン授業の恩恵を十分に受けられない生徒もいる。
- ③ オンライン授業に必要な機器や環境を準備するための知識が不足している生徒もいる。
- ④ 生徒に兄弟姉妹が多いほど、公的な経済的支援を受けにくい。

資料Aの第3文「一部の家庭では、コンピューターやブロードバンド・インターネット接続に使える十分な資金を用意できず、その結果、子どもたちの教育へのアクセスが制限される場合がある」より、㉔が正解。①は、第5文「都市部に比べ田舎では、高速インターネットへのアクセスが限られている場合がある」の内容と逆なので、不可。③、④については述べていないので、不可。

問5 **32** ㉔

理由3について、あなたは「オンライン授業は生徒に肉体的負担を強いる」と書くことにした。資料Bに基づく、この言葉を最もよく支持する選択肢はどれか。**32**

- ① 調査対象の10代の半数を少し上回る人が運動不足を訴えている。十分に運動していないことは、彼らの日常生活に悪影響を及ぼしかねない。
- ② 回答者の4分の1未満がオンライン授業を受けた後の首や肩の痛みについて訴えている。これは、授業中の姿勢の悪さが原因かもしれない。
- ③ オンライン授業の経験について尋ねられたとき、50%を超える回答者が集中力の低下を訴えている。自宅の自分の部屋では緊張感が少なくなるのも無理はない。
- ④ 調査対象の10代の4分の3を超える人が、目の疲れやドライアイを訴えている。コンピューターの画面をあまりに長時間見続けることが原因だろう。

グラフで「集中力の低下」を訴えているのは54%で、これは「50%を超える」ので、㉔が正解。「運動不足」を訴えているのは45%で、これは「半数(=50%)を下回る」なので、①「半数を少し上回る」は不可。「首や肩の痛み」を訴えているのは27%で、これは「4分の1(=25%)を超える」ので、②「4

分の1未満」は不可。「目の疲れやドライアイ」を訴えているのは72%で、これは「全体の4分の3(=75%)未満」なので、④「4分の3を超える人」は不可。

第7問

【全訳】

あなたの英語の先生がクラスの生徒全員に、興味深い記事を見つけ、メモを使ってディスカッショングループに発表するように言いました。あなたはアーティストによって書かれた記事を見つけました。

アートスタジオで学んだ教訓

ティモシー(ティム)・ミルトン

絵を描き出したのがいつだったかは思い出せませんが、とても若い頃だったことは間違いありません。私は、才能こそが唯一大切なものだと、つまり生まれながらにして才能に恵まれているかいないかのどちらかだと思っていました。高校生のときにアートスタジオに通うようになって初めて、アートは単に才能だけではなく、それ以上のことがいかに多くあるのかに気づきました。私がそのアートスタジオで学んだことは、ただ絵を描いたりデッサンしたりすることにとどまりませんでした。多くの貴重なライフスキルを学んだのです。

私は、アーティストが自分の作品を通じて自己を表現する様々な方法、いかにして感情や物語を捉え、いかにして自分の個性を表現するのかということに、いつも魅せられていました。彼らとまったく同じように、アートを通して自己を表現するやり方と絵画やデッサンを美しく描くやり方を学ぼうと決意していました。当時は、自分のことと自分が創り出したいと思っていた美がすべてでした。

最初のうちは、終わりのない苦闘でした。私は、単純な花瓶を少しも本物のように描くことはできませんでしたし、美しく描くことなど言うまでもできませんでした。私の師であるジェンキンス先生は、私が苦闘しているのがわかると、あらん限りの方法で私を励ましてくれました。彼女は常に、アートはプロセスが重要なのであって、単に最終的な結果が重要なわけではないと強調していました。最初は、彼女が何を言おうとしているのかわかりませんでした。

彼女の指導の下、私は徐々に「アートを創り出すプロセス」とは実際にどのようなことを学び始めました。ジェンキンス先生は、対象を非常に注意深く観察して細かなところまですべてを捉えようとする必要がある、ということを教えてくれました。花瓶を美しく描いてみてはいけなかったのです。重要なことは、花瓶がもともと持つ美しさを見て取り、キャンバス上に正確に伝えることでした。

ジェンキンス先生のおかげで、私は自信を深め、技術も身につけ、国立アートアカデミーに出願することを決めました。驚いたことに、私は合格したのです。まさにこのアートアカデミーで、私はジェンキンス先生が多くの貴重な教訓を教えてくれたことを実感したのです。

アカデミーでの2年目に、彫刻科の教授であるハモンド先生が私の作品に大いに満足して、それを国際コンペティションに推薦してくれました。私はどうして先生が私の作品を推薦してくれたのかに興味を持ち、彼に尋ねてみました。彼は、「アーティストが重要なのではなく、焦点は創造物に置かれるべきだということを理解しているのはクラスで君だけな

んだ」と説明してくれました。彼の賞賛はすぐにジェンキンス先生についての思い出を呼び起こしました。

ジェンキンス先生から学んだ別の教訓は、コミュニティと協力の重要性でした。当時、彼女はアーティストが成長して向上したいなら、他のアーティストと協力する機会を積極的に求めるべきだと言って、スタジオの子どもたち全員に共同でプロジェクトをさせていました。その教訓がどれほど大切だったかは、私がアカデミーを卒業した直後に気づきました。私がアカデミーの3年生と4年生のときにいくつものプロジェクトで協力した友人のジャック・ティルトンが、大手広告代理店に就職しました。彼は仕事に関係するいくつかのプロジェクトに参加するように私を誘ってくれました。彼に言わせると、私を知っていて信頼しているからということでした。私たちが以前一緒に行った共同制作こそが、このような友情と信頼を創り出したのです。

私は20代と30代の頃、独立したアーティストとして働いていました。私は革新的なアートを創り出すことを伴う多くのプロジェクトに参加することになりました。フリーランスのアーティストとしての私の最大の業績は、30代前半に国際音楽祭のロゴを創り出したことです。それらの年月の間、ジェンキンス先生についての思い出は決して薄れることはありませんでした。アートと人生について彼女が私に与えてくれた教訓は、私のアーティストとしての旅路の大きな部分を占めてきました。そんな訳で、41歳になった今、私はアートの教師になって、次世代のアーティストにそれらの教訓をいくらかでも伝えていこうと決めたのです。

メモ:

### アートスタジオで学んだ教訓

#### 筆者(ティモシー・ミルトン)に関して

- ・子どものときに絵を描き始めた。
- ・アートスタジオで学んだ教訓は、**33** ④ アートと人生全般の両面で役に立った。

#### 他の重要な人々

- ・ジェンキンス先生：多くの貴重な教訓を与えてくれたティムのアートの先生。
- ・ハモンド先生：ティムが **34** ④ 国際コンペティションに参加するのを手助けた彫刻科の教授。
- ・ジャック・ティルトン：ティムの国立アートアカデミーでのクラスメート。

#### ティムがよりよいアーティストになる旅路において影響のあった出来事

絵を描き始めた→

- 35** ⑤ アートを創り出すプロセスの重要性を最初に教えられた →
- 36** ③ 国立アートアカデミーに入学を許された →

**37** ① 広告のプロジェクトで友人と協力した →

**38** ② 大きな音楽イベントのロゴをデザインした

#### なぜティムはアートの教師になることに決めたのか？

彼は **39** ① ジェンキンス先生から学んだことを生徒に伝えることを望んでいる。

#### この話から学べること

- ・ **40** ① 他の人と積極的に協力することは、成長し向上するのに役立つことがある。
- ・ **41** ③ アートを通してありのままの美を伝えられることは、ただ才能があるだけよりも重要である。

#### 【語句・構文解説】

- ・ present O 「Oを発表する」
- ・ a story written by an artist 「アーティストによって書かれた記事」 written by an artist は a story を修飾する過去分詞句。
- ・ lesson 「教訓」
- ・ art studio 「アートスタジオ／絵画教室」
- ◆第1段落◆
- ・ must have been ~ 「～だったにちがいない」
- ・ it isn't until ... that ~ 「…して初めて～する」
- [例] It wasn't until he spoke that I realized he wasn't Japanese.  
彼が話をして初めて彼が日本人ではないことに気づいた。
- ・ how much more there was to art than just talent 「アートは単に才能だけではなく、それ以上のことがいかに多くあるのか」 there is more to A than B 「AにはB以上のことがある／AはBだけではない」の more が how much more となり節の先頭に移動している。
- ・ far more 「はるかに多くのこと」 far は比較級を強調する副詞。
- ・ paint 「(絵の具で)描く」
- ・ draw 「デッサンする／(線で)描く」
- ・ life skill 「ライフスキル／生活技能」 日常生活に生じる様々な問題や要求に対して、より建設的かつ効果的に対処するために必要な心理社会的な能力。

#### ◆第2段落◆

- ・ be fascinated by A 「Aに魅せられている」
- ・ capture O 「Oを捉える」
- ・ emotion 「感情」
- ・ individuality 「個性」
- ・ be determined to do 「～しようと決意している」

・ the beauty I wanted to create 「自分が創り出したと思っていた美」 I wanted 以下は the beauty を修飾する節。

#### ◆第3段落◆

- ・ in the beginning 「最初のうちは」
- ・ never-ending 「終わりのない」
- ・ struggle 「苦闘(する)」
- ・ vase 「花瓶」
- ・ a bit 「少し」
- ・ let alone ~ 「ましてや～ない／～は言うまでもなく」
- [例] The dog was unable to walk, let alone run.  
その犬は歩くことができなかったし、ましてや走ることなどできなかった。

・ encourage O 「Oを励ます」

- ・ every possible A 「できる限りのA」
- ・ emphasize that SV ... 「…であると強調する」
- ・ end result 「最終結果」
- ・ at first 「最初のうちは」

#### ◆第4段落◆

- ・ gradually 「徐々に」
- ・ object 「対象／オブジェ」
- ・ closely 「注意深く」
- ・ try to do 「～しようとする」
- ・ detail 「細部」
- ・ be not supposed to do 「～してはいけない／～しないことになっている」
- [例] You are not supposed to park in this space.  
このスペースには駐車してはいけません。

・ try doing 「試しに～してみる」

- ・ convey O 「Oを伝える」
- ・ accurately 「正確に」

◆第5段落◆

- ・ thanks to A 「Aのおかげで」
- ・ grow C 「Cになる」
- ・ confident 「自信がある」
- ・ skilled 「熟達した」
- ・ apply to A 「Aに出願する／応募する」
- ・ It was at the Art Academy that ... 「まさにこのアートアカデミーで…したのです」 強調構文。at the Art Academy が強調されている。

◆第6段落◆

- ・ sculpture 「彫刻」
- ・ work 「作品」
- ・ recommend O 「Oを推薦する」
- ・ competition 「コンペティション／競技会」
- ・ be curious about A 「Aに興味がある」
- ・ focus 「焦点」
- ・ creation 「創造(物)」
- ・ praise 「ほめ言葉／賞賛」
- ・ immediately 「ただちに」
- ・ bring back O / bring O back 「Oを思い出させる」

◆第7段落◆

- ・ Another lesson I learned from Mrs. Jenkins 「ジェンキンス先生から学んだ別の教訓」 I 以下は Another lesson を修飾する節。
- ・ collaboration 「協力／協同」
- ・ opportunity to do 「～する機会」
- ・ collaborate with A 「Aと協力する」
- ・ right after SV ... 「…する直後」
- ・ graduate from A 「Aを卒業する」
- ・ a number of A 「いくつかのA／数多くのA」
- ・ advertising agency 「広告代理店」
- ・ invite O to do 「Oに～するように誘う」
- ・ participate in A 「Aに参加する」
- ・ several projects related to his work 「彼の仕事に関係するいくつかのプロジェクト」 related 以下は several projects を修飾する過去分詞句。related to A 「Aに関係する」
- ・ in A's words 「Aの言葉では」
- ・ It was the collaborative work we'd done together that created this friendship and trust. 「私たちが以前一緒に行った共同制作こそが、このような友情と信頼を創り出したのです」 It is ~ that ... 「～こそが…／…は～である」の強調構文。we'd done together は the collaborative work を修飾する節。collaborative work 「共同制作」

◆第8段落◆

- ・ independent 「独立した」
- ・ end up doing 「～することになる」
- ・ involve O 「Oを伴う」
- ・ innovative 「革新的な」
- ・ achievement 「業績」
- ・ fade away 「薄れる／弱まる」
- ・ the lessons she taught me about art and life 「アートと人生について彼女が私に与えてくれた教訓」 she 以下は the lessons を修飾する節。
- ・ That is why SV ... 「そんな訳で…」
- ・ now that SV ... 「今や…なので」

◆メモ◆

- ・ influential 「影響のある」

【設問解説】

問1 [33] ④

[33] に入れるのに最も適切な選択肢を選ぶ。

- ① 彼が独自の様式を創り出すことを可能にした
- ② マーケティングで彼に役立ち、彼は裕福になった
- ③ アートの歴史に関する知識を含んでいた
- ④ アートと人生全般の両面で役に立った

第1段落最終文「私がそのアートスタジオで学んだことは、ただ絵を描いたりデッサンしたりすることにとどまりませんでした。多くの貴重なライフスキルを学んだのです」より、④が正解。①、②、③については述べられていないので、不可。

問2 [34] ④

[34] に入れるのに最も適切な選択肢を選ぶ。

- ① 海外のアートスクールに行くための奨学金を取得する
- ② 協力する相手を見つける
- ③ 彫刻の技術を大いに向上させる
- ④ 国際コンペティションに参加する

第6段落第1文「アカデミーでの2年目に、彫刻科の教授であるハモンド先生が私の作品に大いに満足して、それを国際コンペティションに推薦してくれました」より、④が正解。①と③については、述べられていないので不可。②は、第7段落第4文の「私がアカデミーの3年生と4年生のときにいくつかのプロジェクトで協力した友人のジャック・ティルトン」に関連するが、ハモンド先生が「協力する相手を見つけるのを手助けした」とは述べられていないので、不可。

問3 [35] ⑤ [36] ③ [37] ① [38] ②

5つの選択肢(①～⑤)から4つを選び、起きた順に並べ換えよ。[35] → [36] → [37] → [38]

- ① 広告のプロジェクトで友人と協力した
- ② 大きな音楽イベントのロゴをデザインした
- ③ 国立アートアカデミーに入学を許された
- ④ 広告代理店に雇われた
- ⑤ アートを創り出すプロセスの重要性を最初に教えられた

第4段落第2・最終文「ジェンキンス先生は、対象を非常に注意深く観察して細かなところまですべてを捉えようとする必要がある、ということをお教えました。花瓶を美しく描いてみてはいけなかったのです。重要なことは、花瓶がもともと持つ美しさを見て取り、キャンバス上に正確に伝えることでした」より、[35]には⑤が入る。第5段落第1・2文「ジェンキンス先生のおかげで、私は自信を深め、技術も身につけ、国立アートアカデミーに出願することを決めました。驚いたことに、私は合格したのです」より、[36]には④が入る。第7段落第4・5文「私がアカデミーの3年生と4年生のときにいくつものプロジェクトで協力した友人のジャック・ティルトンが、大手広告代理店に就職しました。彼は仕事に関係するいくつかのプロジェクトに参加するように私を誘ってくれました」より、[37]には①が入る。最終段落第3文「フリーランスのアーティストとしての私の最大の業績は、30代前半に国際音楽祭のロゴを創り出したことでした」より、[38]には②が入る。なお、④は、上記第7段落第4文より、友人のジャック・ティルトンに関することなので、どの空所にも入らない。

問4 [39] ①

[39] に入れるのに最も適切な選択肢を選ぶ。

- ① ジェンキンス先生から学んだことを生徒に伝える
- ② アートに関連した金銭面で安定した仕事を得る
- ③ アートを学んでいる生徒が彼の彫刻の技術を身につけるのを手助けする
- ④ 子どもと協力して新しい様式のアートを創り出す

最終段落第4文後半・最終文「アートと人生について彼女が私に与えてくれた教訓は、私のアーティストとしての旅路の大きな部分を占めてきました。そんな訳で、41歳になった今、私はアートの教師になって、次世代のアーティストにそれらの教訓をいくらかでも伝えていこうと決めたのです」より、①が正解。②、③、④については述べられていないので、不可。

問5 [40] [41] ①-③

[40] と [41] に入れるのに最も適切な選択肢を

2つ選べ。(順不同。)

- ① 他の人と積極的に協力することは、成長し向上するのに役立つことがある。
- ② アートの教師になるのは、アートを創り出すよりも困難である。
- ③ アートを通してありのままの美を伝えられることは、ただ才能があるだけよりも重要である。
- ④ 技術を向上させアートを創り出し始めるのに遅すぎるといえることはない。
- ⑤ 大学の教授はあまり多くのことを教えてくれない。

第7段落第1・2文に「ジェンキンス先生から学んだ別の教訓は、コミュニティと協力の重要性でした。当時、彼女はアーティストが成長して向上したいなら、他のアーティストと協力する機会を積極的に求めるべきだと言って、スタジオの子どもたち全員に共同でプロジェクトをさせていました」とあり、続いてこの教訓が後の人生で役立ったことが述べられているので、①は正解。第1段落第2・3文に「私は、才能こそが唯一大切なものだと、つまり生まれながらにして才能に恵まれているかいないかのどちらかだと思っていました。高校生のときにアートスタジオに通うようになって初めて、アートは単に才能だけではなく、それ以上のことがいかに多くあるのかに気づきました」とあり、アートスタジオで実感した才能以上のことについては第4段落第2・最終文「ジェンキンス先生は、対象を非常に注意深く観察して細かなところまですべてを捉えようとする必要がある、ということをお教えました。花瓶を美しく描いてみてはいけなかったのです。重要なことは、花瓶がもともと持つ美しさを見て取り、キャンバス上に正確に伝えることでした」に述べられているので、③も正解。②、④、⑤については述べられていないので、不可。

第8問

【全訳】

あなたは科学の授業で行うプレゼンテーションを準備している学生グループに属しています。動物の多様性に関するプレゼンテーションの自分の担当パートを作成しようと、次の文章を用いています。

コイとは、淡水に生息する銀灰色の魚である。コイはアジアが原産で、ここでは食用にされることが多い。およそ2,000年前の中国で、明るい赤色をした何匹かのコイが生まれた。いわゆる突然変異が起きたので、それらのコイは他のコイとは見た目が異なっていた。突然変異とは、動物の正常なDNAが変化することである。人々は赤いコイが気に入り、鑑賞するのにとても美しかったので、池で育てた。突然変異により、さらにいくつかの新しい色が現れた。人々は気に入った突然変異種の魚を飼い、それらをコイではなく、キンギョと呼び始めた。実際、中国の皇后がキンギョをととても気に入ったので、1162年には、黄色いキンギョを飼育できるのは皇族だけに限られると宣言した。今では、色だけでなく、形や大きさも様々なキンギョがいる。

今日のキンギョは、はるか昔に中国で飼育されていたものが原種である。それらはコイによく似た形をしている。体型は細長く、とても丈夫である。泳ぎが上手で、あまりきれいでない水の中でも生きていける。キンギョには黒、茶、赤、黄、オレンジ、白など、たくさんの美しい色がある。この丈夫な魚は15年以上生き、全長は30センチくらいまで大きくなることがあるので、池で飼われることが多い。人気のある種類のキンギョの1つがコメットである。コメットは合衆国で初めて飼育された。活発で遊び好きなこの魚は、やや小さめだが、非常に長い尾びれを持っている。

やがて、人々は家の中でキンギョを飼うようになった。悪天候や他の動物から守られるので、新種のキンギョは生き残ることができた。こういった新種は、ダブルテールと呼ばれる2枚の尾びれを持つことから、「ファンシー」なキンギョと呼ばれている。日本原産のワキンは最初のファンシーなキンギョだった。ワキンは大型で、後ろから見るとXのように見える短い尾びれを除けば、コメットのような形をしている。リュウキンはワキンの突然変異種で、ワキンと比べるとかなり小型である。リュウキンは卵型の体型で、水中でひらひらと流れるように動く長いひれを持つ。中には、泳ぎが非常に遅くなるほど極端に長い尾びれを持つものもいる。そういった尾びれは流れが速すぎる水の中では傷ついてしまうことがあるので、そのようなリュウキンは室内で飼育する必要がある。

また別のファンシーなキンギョであるオランダシシガシラは、突然変異によって帽子をかぶっているように見える。ふくれた頭は赤いことが多いが、体は白かオレンジ色である。オランダシシガシラは、屋外で生育していると、頭部のふくれた部分に病気を持つことが多い。ハナフサは、オランダシシガシラよりずっと珍しいが、よく似たふくれた部分を持つ突然変異種である。しかし、そのふくれた部分は頭頂部ではなく、鼻が肥大化したものである。この魚は、顔の両側にポンポンがあるように見える。残念ながら、このポンポンは病気に冒されやすいので、室内で飼う必要がある。ハナフサはとても小さく、せいぜい15センチくらいしかない。

デメキンは1700年代に中国で初めて飼育された。目が頭から突き出ているので、とても珍しい。デメキンの稚魚が普通の目をしていることに注目すると興味深い。目が成長して顔の側面から出てくるまでには、およそ6か月かかる。この目の形が原因でよく見えず、餌を探すのに苦労することさえある。また、とがった石や植物の葉などで誤って目を傷つけてしまうこともあるので、置物をまったく入れない水槽で飼育する必要がある。デメキンの体型は丸く、尾びれが長いですが、これも泳ぎが遅くなる原因である。

現在、キンギョには200を超える種類がある。これほど見た目の異なる魚がすべて同類であるとは驚きである。細長いコメットは、丸い体型にエイリアンのような眼をしたデメキンとは似ても似つかない。実は、皆キンギョなのだが、小さな突然変異が重なって、それぞれ見た目は大きく異なるのである。

プレゼンテーション用スライド

キンギョ：  
色とりどりの美しい魚

1. 基本情報

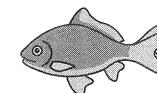
- ・同じ種の魚から突然変異した
- ・中国が原産である
- ・中国の皇后に好まれた
- ・**42** ③ 色や体型が異なる

2. (A) コメット



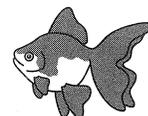
- ・アメリカが原産である
- ・やや小さめである
- ・活発で遊び好きである
- ・尾びれが長い

ワキン



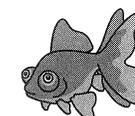
- ・日本が原産である
- ・**43** ② 尾びれが短くダブルテールである
- ・**44** ④ 尾びれ以外はコメットに似ている

3. (B) リュウキン



- ・ワキンの突然変異種である
- ・体は卵型である
- ・ひれと尾びれが長い
- ・屋内で飼育される必要がある

デメキン



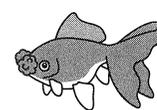
- ・目が飛び出している
- ・**46** ② 餌を見つけるのに苦労する
- ③ 尾びれが長い
- ④ 視力が弱い
- ⑤ 丸い体型である

4. (C) オランダシシガシラ



- ・帽子をかぶっているように見える
- ・病気にかかりやすい
- ・屋内で飼育される必要がある

(D) ハナフサ



- ・鼻にふくらんだ部分がある
- ・病気にかかりやすい
- ・室内で飼育される必要がある
- ・とても小さい

5. 最後に

- 47** ④ 現在キンギョには200を超える種類がある。しかし、すべて元はコイから進化したものである。

## 【語句・構文解説】

- ・prepare for A 「Aのために準備する」
- ・the following A 「次のA」
- ・passage 「文章」
- ・diversity 「多様性」
- ◆第1段落◆
  - ・carp 「コイ」
  - ・fresh water 「淡水」
  - ・come from A 「Aが原産である/A出身である」
  - ・what is called ~ 「いわゆる~」
  - ・mutation 「突然変異」
  - ・raise O 「Oを育てる」
  - ・pond 「池」
  - ・the fish with mutations they liked 「(彼らが)気に入った突然変異種の魚」 they liked は the fish with mutations を修飾する節。
  - ・goldfish 「キンギョ」
  - ・A rather than B 「BでなくA/BよりむしろA」  
[例] She likes to watch TV all day at home rather than go out.  
彼女は外出するよりも1日中家でテレビを見るのが好きだ。
  - ・Empress 「皇后」
  - ・so ~ that SV ... 「とても~なので…」
  - ・declare that SV ... 「…だと宣言する」
  - ・royal family 「皇族」
  - ・not just A but also B 「AだけでなくBも」
- ◆第2段落◆
  - ・be similar to A 「Aに似ている」
  - ・thin 「細い」
  - ・including A 「Aを含めた」
  - ・athletic 「丈夫な」
  - ・comet 「コメット/彗星」
  - ・playful 「遊び好きな」
  - ・tail 「尾びれ/尾」
- ◆第3段落◆
  - ・over time 「やがて/時が経って」
  - ・protect A from B 「AをBから守る」
  - ・fancy 「珍種の/変わり種の」
  - ・A called B 「Bと呼ばれるA」
  - ・fin 「ひれ」
  - ・wakin goldfish 「ワキン(和鯉)」
  - ・except for A 「Aを除いて」
  - ・from behind 「背後から」
  - ・fantail goldfish 「リュウキン(琉金)」
  - ・much+比較級 「はるかに~/ずっと~」 比較級の強調。

- ・egg-shaped 「卵型の」
- ・flow 「流れるように動く」
- ・extremely 「極端に」
- ・make O do 「Oに~させる」
- ・damage O 「Oを傷つける」
- ◆第4段落◆
  - ・oranda goldfish 「オランダシシガシラ」
  - ・look like SV ... 「まるで…のように見える」
  - ・puffy 「ふくらんだ」
  - ・pompom goldfish 「ハナフサ」  
pompom 「ボンボン/玉房」
  - ・affect O 「Oに影響する」
  - ・at the most 「せいぜい/大きくても」
- ◆第5段落◆
  - ・telescope goldfish 「デメキン(出目金)」
  - ・unusual 「珍しい/変わっている」
  - ・stick out of A 「Aから飛び出す」
  - ・note that SV ... 「…ということに注目する/気づく」
  - ・it takes O for A to do 「Aが~するのにO(期間など)かかる」  
[例] It took two years for him to write the novel.  
彼がその小説を書くのに2年かかった。
  - ・due to A 「Aが原因で」
  - ・have a hard time doing 「~するのに苦労する」
  - ・accidentally 「誤って」
  - ・injure O 「Oを傷つける」
  - ・fish tank 「水槽」
- ◆第6段落◆
  - ・amazing 「びっくりさせるような/驚嘆すべき」
  - ・visually 「見た目には」
  - ・related 「同類の/血がつながっている」
  - ・in reality 「実は/現実には」

## 【設問解説】

- 問1 42 ③  
42に入れるのに最もよい言葉を選べ。
- ① 飼育が簡単である  
② 世界中で食べられている  
③ 色や体型が異なる  
④ 皇族にのみ飼育される
- 第1段落最終文「今では、色だけでなく、形や大きさも様々なキンギョがいる」より、③が正解。①は、第2段落第3文に「体型は細長く、とても丈夫である」とあるが、第4段落第3文「オランダシシガシラは、屋外で生育していると、頭部のふくれた部分に病気を持つことが多い」や同段落第7文「残

念ながら、この(=ハナフサの)ボンボンは病気に冒されやすいので、室内で飼う必要がある」などより、すべてのキンギョが育てやすいとは言えないので、不可。②は、第1段落第2文に「コイはアジアが原産で、そこでは食用にされることが多い」とあるが、これはキンギョに関することではないので、不可。④は、第1段落第9文「実際、中国の皇后がキンギョをととも気に入ったので、1162年には、黄色いキンギョを飼育できるのは皇族だけに限られると宣言した」に関連するが、すべてのキンギョが皇族のみに飼育されたかどうかは述べられていないので、不可。

問2 43 44 ②-④

2のスライドに入る、本文で述べられているワキンの特徴を2つ選べ。(順不同。)

43 44

- ① リュウキンの突然変異種である  
② 尾びれが短くダブルテールである  
③ 30年以上生きる  
④ 尾びれ以外はコメットに似ている

第3段落第3文「こういった新種は、ダブルテールと呼ばれる2枚の尾びれを持つことから、『ファンシー』なキンギョと呼ばれている」、および同段落第5文「ワキンは大型で、後ろから見るとXのように見える短い尾びれを除けば、コメットのような形をしている」より、②と④が正解。①は、同段落第6文「リュウキンはワキンの突然変異種で、ワキンと比べるとかなり小型である」より、不可。③は、第2段落第6文「この丈夫な魚(=キンギョ)は15年以上生き、全長は30センチくらいまで大きくなることがあるので、池で飼われることが多い」より、不可。

問3 45 ①

2と3と4のスライドのキンギョのイラストの欠落した名称を埋めよ。45

- ① (A) コメット (B) リュウキン  
(C) オランダシシガシラ (D) ハナフサ  
② (A) コメット (B) リュウキン  
(C) ハナフサ (D) オランダシシガシラ  
③ (A) リュウキン (B) コメット  
(C) オランダシシガシラ (D) ハナフサ  
④ (A) ハナフサ (B) オランダシシガシラ  
(C) コメット (D) リュウキン  
⑤ (A) ハナフサ (B) オランダシシガシラ  
(C) リュウキン (D) コメット

第2段落第8・9文「コメットは合衆国で初めて飼育された。活発で遊び好きなこの魚は、やや小さ

めだが、非常に長い尾びれを持っている」より、(A)にはコメット、第3段落第6・7文「リュウキンはワキンの突然変異種で、ワキンと比べるとかなり小型である。リュウキンは卵型の体型で、水中でひらひらと流れるように動く長いひれを持つ」より、(B)にはリュウキンが入る。第4段落第1文「また別のファンシーなキンギョであるオランダシシガシラは、突然変異によって帽子をかぶっているように見える」より、(C)にはオランダシシガシラ、同段落第4~6文「ハナフサはオランダシシガシラよりずっと珍しいが、よく似たふくれた部分を持つ突然変異種である。しかし、そのふくれた部分は頭頂部ではなく、鼻が肥大化したものである。この魚は、顔の両側にボンボンがあるように見える」より、(D)にはハナフサが入る。したがって、①が正解。

問4 46 ①

46に含めるべきでないものは次のうちどれか。

- ① 生まれつきエイリアンのような目をしている  
② 餌を見つけるのに苦労する  
③ 尾びれが長い  
④ 視力が弱い  
⑤ 丸い体型である

①は、第5段落第3・4文「デメキンの稚魚が普通の目をしていることに注目すると興味深い。目が成長して顔の側面から出てくるまでには、およそ6か月かかる」より、スライドに含めるべきではない。したがって、①が正解。

同段落第5文「この目の形が原因でよく見えず、餌を探すのに苦労することさえある」より、②・④は含めるべきである。さらに、この段落の最終文「デメキンの体型は丸く、尾びれが長い、これも泳ぎが遅くなる原因である」より、③・⑤も含めるべきである。

問5 47 ④

最後のスライドに入れるのに最もよい言葉はどれか。47

- ① すべてのキンギョは見た目が大きく異なる。しかし、すべて泳ぐのはとても速い。  
② すべてのキンギョは見た目が大きく異なる。しかし、すべて同じ国で生まれ育てられた。  
③ 現在キンギョには200を超える種類がある。しかし、すべて寿命は同じである。  
④ 現在キンギョには200を超える種類がある。しかし、すべて元はコイから進化したものである。キンギョがいずれもコイの突然変異種であることは第1段落で述べられている。そして、最終段落第1・2文「現在、キンギョには200を超える種類が

ある。これほど見た目の異なる魚がすべて同類であるとわかると驚きである」より、④が正解。①は、第3段落第8文「(リュウキンの)中には、泳ぎが非常に遅くなるほど極端に長い尾びれを持つものもある」や第5段落最終文「デメキンの体型は丸く、尾びれが長いが、これも泳ぎが遅くなる原因である」より、泳ぐのが遅いキンギョもいるとわかるので、不可。②は、第2段落第8文「コメットは合衆国で初めて飼育された」や第3段落第4文「日本原産のワキンは最初のファンシーなキンギョだった」より、キンギョの産地が異なることがわかるので、不可。③については、それぞれのキンギョの寿命については述べられていないので、不可。

## 第2回 解答・解説